

〔長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。〕

# 公共施設の将来のあり方を考える市民対話《西浦上・三川地区》

## ❀ 第1回 開催報告 ❀



ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。



日時 平成30年6月23日(土)18:30~20:30

場所 長崎大学工学部

参加者 地域の皆さん 24人

人口減少や少子高齢化が進む中であっても暮らしやすいまちであり続けるために、西浦上・三川地区にある公共施設はこれからどうあったら良いのか・・・将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思い、市民対話を開催しました。

### 1 いま起きている“変化”と状況

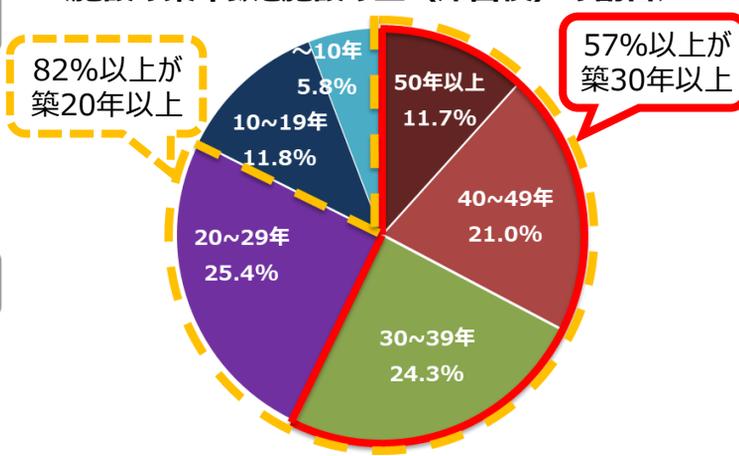
#### 公共施設が古くなってきている

- ・市の公共施設（主に建物）の半分以上が建築後30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・今後、修理や建替えの時期を一斉に迎えます。

#### 人口減少・少子高齢化が進んでいる

- ・長崎市の人口は、今後30年間で約11.8万人の減少が予想され、それに伴い施設の利用者も減少していくことが予想されます。
- ・「働く世代」の人口が大きく減少して**税収が減少することが予想**されます。
- ・今後も高齢化が進み、**福祉や医療にあてる費用が増えることが予想**されます。
- ・このため、**公共施設の修理や建替えにあてる費用は限られてしまいます。**

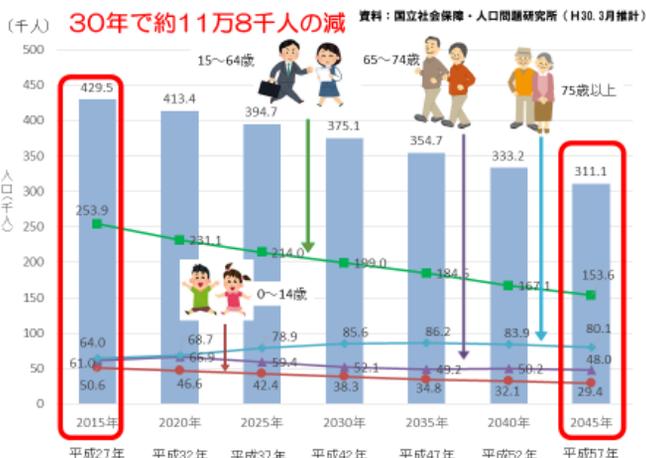
#### ＜施設の築年数と施設の量（床面積）の割合＞



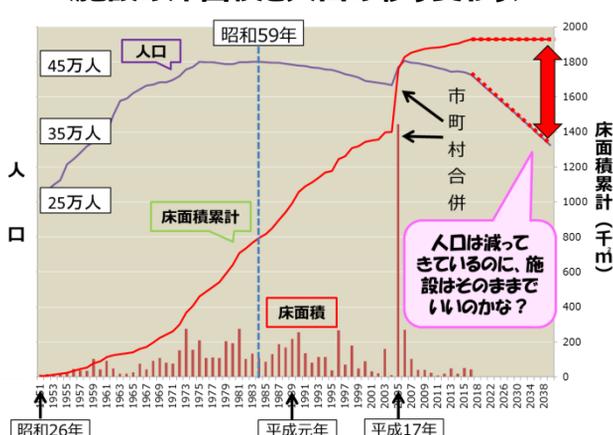
#### 人口は減少しているのに、施設は多いまま

- ・長崎市の人口（紫の線）は、昭和59年をピークに減少していますが、**施設の量**（※床面積、赤の線）は増え続けてきました。
- ・**今ある施設を全て持ち続けることが必要でしょうか？**

#### ＜人口の将来予想＞



#### ＜施設の床面積と人口の移り変わり＞



## 2 時代の変化に対応できる公共施設の見直し

長崎市から、「いま起きている“変化”と状況」として、なぜ公共施設のあり方を見直す必要があるのかお話ししました。

### ところで…

建物の生涯では、どんなお金がかかるかご存知ですか？

建物にかかるお金は、初めに建物を建てるお金だけではありません。

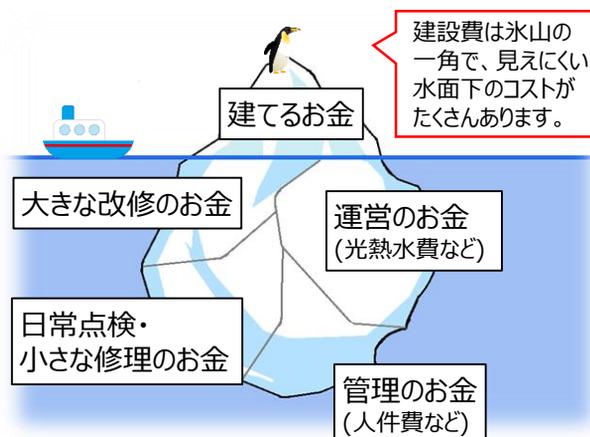
建てた後も、建物の管理・運営のための光熱水費や人件費、安全のための日常点検・小さな修理のお金が必要になります。

また、建物の老朽化に伴い、定期的に大きな改修のお金もかかります。

一般的に、建物を建てるお金の4～5倍のお金が、建てた後にかかるといわれています。

建物のあり方を考えるときには、**建物の生涯にかかるお金全体を考える必要があります。**

### 建物の生涯に必要なお金



### 公共施設を取り巻く時代の変化

長崎市の人口は、30年後には11.8万人(27%)も減少すると予想されているんだ。

人口減少

少子高齢化

働く世代の人口が大きく減っていったら、税収(市の収入)が減っていくよ。

公共施設の  
利用者の減少

医療・介護など福祉  
にあてる予算の増大

なのに

なのに

公共施設の量は  
そのまま？

古くなった公共施設の  
修理に費用がかかる

どうしたらいいのだろう？

人は減っていくのに、施設の量はそのままだと、使われない施設が増えてしまうね。

市の施設の半分以上が、築30年以上で老朽化しているよ。これからますます修理の費用がかかるよ。

長崎市が

『人口が減ったり、高齢化が進んでも、

暮らしやすいまち』であり続けるために

『今、できること』に取り組むことが大切です！

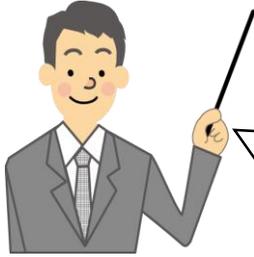


### 3 公共施設のかしこい見直し方

長崎市から、どのように公共施設を見直していくかについて、お話ししました。

まず大切なことは…

**施設を見直すことは、行政サービスを無くすことではありません。**



施設の見直しとは、あくまでも施設のあり方や使い方を見直すということです。仮に施設が減っても、そこで行われていた生活に必要なサービスを無くすことではありません。

<工夫した使い方の例>



建物は減っても… サービスは残る

#### 公共施設を見直す時の視点

公共施設の使い方を見直す時には、次の7つの視点で考えていきます。

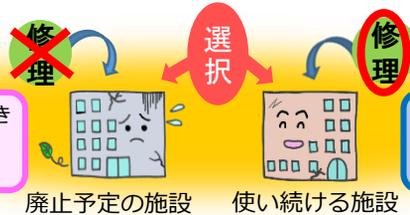
<p>建築年数や修理の状況</p>	<p>地震に強い建物か</p>	<p>よく利用されているか</p>	<p>使っていない部屋はないか</p>	<p>同じような使われかたをしている建物がないか</p>	<p>修理などにお金が掛かりすぎているか</p>	<p>バリアフリーに対応しているか</p>
-------------------	-----------------	-------------------	---------------------	------------------------------	--------------------------	-----------------------

#### 見直しの手法

見直しには、大きく3つの手法があります。

**手法1** 使い続ける施設と廃止予定の施設を分けて、使い続ける期間に合わせた適切な修理をする

廃止予定なのに大きな修理をするのは、もったいないね！



安全で安心して利用できる施設管理に努めます

**手法2** ゆずりあいと工夫

午前 午後

- いっしょに使う ●
- 時間をやりくり ●
- 片づける ●

工夫することで建物が減っても活動は続けられ新たな交流生まれます。

**手法3** 新たな財源を確保する

- ◇使っていない土地や建物を売ったり、貸したりする(遊休資産の活用)
- ◇民間と連携・協力し、より良い行政サービスを効率的に提供する

### 4 グループワーク

#### 見直した方がいいと思う施設について考えよう

○西浦上・三川地区の将来を考えるうえで、見直した方がいいと思う施設は何ですか。

○その理由は何ですか。

思い浮かんだ施設を、書き出してもらい、それぞれの施設について、班で話し合いました。



# グループワークで出された主な意見

グループワークで話し合っていたいただいた内容について、班ごとに発表していただきました。

- ・市営アパートを建て替える際は、住宅だけでなく、公共的な他の施設と一緒にしてもらえればという思いはしている。
- ・川平地域では散歩者が多いので、その方々のトイレを設置してもらえればありがたい。



1班

- ・避難所まで距離があり、高齢者は時間がかかるので、近隣のマンションロビーを待避所として使わせてもらうことができないか。
- ・すみれ荘の階段は、高齢者がつまづくと危ないので見直しが必要。
- ・市営住宅についても、近くに同じような県営アパートがあったりするので、効率的な見直しが必要。



2班

- ・ぴよぴよ（子育て支援センター）とすみれ荘は案内表示がわかりにくい。駐車場もない。
- ・すみれ荘については、お風呂の必要性について疑問を感じる。経費もかかっているため、あり方を見直してはどうか。全ての部屋が畳なのも使いづらい。
- ・ぴよぴよは利用者が多く、部屋が狭い。すみれ荘との壁を取り払い、スペースを有効に活用できないか。



3班

- ・すみれ荘について、少子高齢化の中で、高齢化にだけ対応した施設にするのがいいのだろうか。
- ・すみれ荘とぴよぴよで幼老介護のような取り組みができないか。
- ・北公民館の図書室を拡大できないか。



4班

- ・ぴよぴよは、駐車場が使いにくく、設備も古い。チトセピアにあれば子育てがやりやすくなるのでは。
- ・雨の日に子どもを遊びに連れて行くところが思い浮かばない。施設の見直しの中で考慮されるとよい。



5班



【講評】（アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讃岐 亮 先生）

- 公共施設を見直すというテーマで皆さんに集まっていただきましたが、本当に必要なのは箱（建物）ではないかもしれません。一番重要なことは、必要な公共サービスが提供されている状態や環境ではないかと思います。
- 地域のことを考える時に、公共施設だけで考えていては、立ち行かない時代です。公共施設の他に地域にある資源（民間が所有する建物等）を有効に使うとする視点は大事だと思います。
- 駐車場の話も切実さを感じました。ただし、全部が全部公共でいいのか、民間の駐車場などとセットで考えることも大切なのではないかと思います。

## 次回の対話では・・・

長崎市から**公共施設の基本的な配置の考え方**をお示ししたうえで、その考え方に對して、地域にお住まいだからこそのわかる実情などを踏まえた、ご意見やアイデア等をお聞かせいただければと思っております。

次回の対話

**第2回 日時：平成30年7月21日（土） 18：30～20：30**  
**場所：長崎大学工学部5番講義室**

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）